

ショートステイ（おくらの里）

住み慣れた地域において利用者が安心して過ごせるように、常に利用者の立場に立ったきめの細かいサービスを提供しながら在宅生活の継続を支援し、家族の身体的・精神的負担の軽減を図る為に、必要とするサービスの適切かつ適時の提供を行います。

地域やご家族との結びつきを重視しながら、関係する保険者や介護保険サービス提供者等と綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

1. 在宅生活の継続と施設ケアの充実

- (1) 各家庭環境・利用の背景を考慮し、本人・家族が何を必要としているかのニーズをくみ取り、可能な限り応えられるように努力します。また、家族の抱える不安や悩みに寄り添い、気軽に相談できる機関として、必要かつ適切な助言や援助を提供します。
- (2) 利用者の残存機能に着目し機能維持に努め、個人の身体・精神状況に合わせたケア、生活の継続性を意識した質の高いサービスを提供します。
- (3) 利用者について、検討された改善策を実施し評価する場として会議を開催し、職員に対して再度周知徹底を図ります。
- (4) 季節感を感じられるイベントやレクリエーションを行います。食事や外出などの体験型の行事を実施し、自宅では味わえない余暇時間を過ごしていただきます。

2. 利用者の確保と緊急時の受け入れ

- (1) 既存の利用者を大切にし、継続して利用して頂けるように個々に合ったサービスを提供します。また、日々変化する空室状況を的確に把握し、各担当ケアマネとの連絡を密に図りながらスムーズな居室調整を行なう事で、稼働率の上昇を目指します。
- (2) 日頃から各居宅介護支援専門員からの連絡や相談を出来る限り受けるよう努力し、利用のリピーターの確保に努めます。
- (3) 緊急の利用依頼時は、各関係機関・部署との綿密な情報交換を行い、受け入れの迅速な判断ができるように、体制を確保しておきます。

3. 個別ケアの実施

- (1) 利用者それぞれの身体・精神状態を的確に把握し、自立支援を促し、生活の質の向上へ繋がります。利用の背景や退所後の生活も考えたケアを提供します。
- (2) 職員個々が専門職としての自覚と責任を持ち、日々のケア・処遇においては指導者が知識や経験を用いて責任ある指導を行い、職員の質・介護力の向上を目指します。